# 甲州・倉岳山（くらたけやま）

（メンバー）高橋、鈴木（忠）、横山、二宮、鈴木（博）、加藤

令和元年（２０１９年）１０月３１日（木）曇後晴
ＪＲ中央本線・梁川駅集合９：４５　梁川駅出発９：５５　倉岳山登山口１０：１５
立野峠１１：５０　倉岳山１２：４０～１３：１０　穴路峠１３：３５　小篠貯水池１５：３５
鳥沢駅１６：２０～４０　八王子駅１７：３０　（反省会）　解散１９：００

本日の参加者は６名である。平日開催にしては多く集まった。
天気は曇空であるが、予報では晴なので富士山の雄姿を観られることを期待し出発する。
駅前から国道２０号線を横切り、桂川にかかる梁川大橋を渡る。紅葉は始まったばかりか。

（梁川駅から出発）

（梁川大橋の上から桂川の上流方向）

林道は先日の１９号台風などでやられたようで、車両侵入禁止となっている。
倉岳山の登山口脇も崩壊している。

（倉岳山登山口。奥でも道路修復工事中）

（登山口脇も崩壊している）

しばらくは月尾根沢沿いに登っていくが、ところどころ登山道は崩壊している。

（橋が流されている）

（登山道を塞ぐ倒木）

最後の水場を過ぎ、ヒノキの植林の急登をひと汗かきながら行くと、ようやく立野峠に到着する。ここで小休憩後、倉岳山へ向かう。立野峠までの谷筋を登るよりは、尾根道を行くのはやはり楽しい。

西へ向かって下り、尾根を境に右が植林された針葉樹林帯、左が広葉樹林帯の平らな尾根を行くと、倉岳山への急登となる。喘ぎながら行くと倉岳山の頂上に到着する。平日にもかかわらず、数パーティの登山者がいる。天気は青空も広がってきているが、残念ながら富士山は雲に隠れている。

（頂上での記念撮影）

（この方向に富士山が見えるはず）

昼食後下山開始。高畑山は時間もないのでスキップし、穴路峠から小篠貯水池方向へ下る。

途中で、鈴木（博）が足をつり悶え苦しむ。「芍薬甘草湯」を３錠服用し、ようやくおさまり、以後ゆっくりと下山する。

（穴路峠の分岐）

（足がつり、苦しむ鈴木）

　この後の下山道は、激しく崩壊しており、不明瞭で歩きにくい。
予定より遅れて小篠貯水池に到着する。
　以降は舗装道路を行き国道２０号線に出て、宿場町の風情が残る民家の間を通り鳥沢駅に到着した。

（小篠貯水地の堰堤）

（鳥沢駅に到着）

鳥沢駅から中央本線で八王子に出て、反省会後解散した。

（以上）